

4月・5月の休館

4月 1. 4. 8. 15. 22. 29. 30日
5月 2~7. 13. 20. 27日

祝日、整理休館日にご注意ください。

こどもの読書週間の催し



4月23日(火)~5月12日(日)は「こどもの読書週間」です。今から64年前の1959(昭和34)年に、子どもたちに本をたくさん読んでほしいとの願いを込めて始まりました。小さいころから本を読む楽しさを知っていることは、とても大切なことです。小牛田図書館では、「こどもの読書週間」に合わせて、スペシャルおはなし会と図書館で所蔵する科学絵本の展示会を開催します。ぜひお越しください。

こどもの読書週間 スペシャルおはなし会

- ・日時:5月11日(土)10時30分~
- ・場所:美里町近代文学館2階
視聴覚会議室
- ・対象:幼稚園~
- ・定員:先着20組
- ・申込:4月11日(木)~図書館カウンターまたは電話☎33-3030

こどもの読書週間 絵本の展示会

- 自然や身の回りのモノの不思議に触れることができる科学の絵本の展示会です。
- ・期間:4月23日(火)~5月19日(日)
 - ※29日(月)、30日(火)、5月2日(木)~7日(火)
 - 13日(月)は休館日
 - ・場所:美里町近代文学館2階
町民ギャラリー

こどもアートミュージアム

子どもたちが美里をイメージした香り(アロマ)から、自由にキャンバスに絵を描き、自分らしさを表現した作品を展示します。観覧無料です。

- ・期間:4月3日(水)~14日(日) ※4月4日(木)・8日(月)は休館日
- ・場所:美里町近代文学館2階 町民ギャラリー
- ※4月14日(日)10時~11時に鑑賞会を行います。



冊数制限解除のお知らせ

小牛田図書館、南郷図書館では、こどもの読書週間および蔵書点検に伴い、以下の期間は、本・雑誌・紙芝居が無制限で借りることができます。

- ・期間:4月20日(土)~6月20日(木)
- ※ただしCD・DVD・複製絵画は、通常通りの貸出点数となります。



大盛況!!「ひと箱古本市」

先月の9日(土)・10日(日)の2日間、車庫で開催した「ひと箱古本市」。本の店主を10名募集したところ、15名の申し込みがありました。開館前から10名以上の方が会場前に並び、開館とともに多くの方が来場、大盛況で終わりました。こちらのイベントは今年度で4度目の開催となります。毎年無人での開催でしたが、店主の方は、店の名前を考え、看板を作り、来場者へメッセージを書いて、出品した本が入った段ボールに添えています。また来場者から出品者へのメッセージコーナーを設置。今年も来場者の方から出品者の方へ寄せられたお手紙は、後日図書館から店主の方へ手渡しました。



終了!おはなし会「春のおひぎにだっこスペシャル」

先月、26日(火)2階ラウンジにおいて、乳幼児を対象としたスペシャルおはなし会を開催しました。会場にはお子さん8名、一般の方16名の参加がありました。絵本や大型絵本の読み聞かせのほか、パネルシアターや紙芝居の上演をしました。最後に、折り紙チューリップを配り、参加者のみなさんと一緒に、チューリップを歌いました。



「大崎エリアの仲間たち作品展 フェルトセンスアート&アールドビーズ」好評につき終了

先月16日(土)~24日(日)に開催された展示会「大崎エリアの仲間たち作品展 フェルトセンスアート&アールドビーズ」。期間中、多くの方が来場しました。

会場を訪れた小学6年生の男の子からは「フェルトセンスアートは輪郭がないのに、人物が綺麗に描かれている。」という感想が寄せられました。

また、作品を出展された早坂美奈子さんは「油絵、水彩画だけではなく、デコパージュや写真、帽子など、幅広い作品の展示会で、いろいろな作品を見ることができて楽しいと来場者の方に声をかけて頂きました。とてもいい展示会でした。」と話していました。



2024年4月 新刊案内



《文学》

- 「ゼロ打ち」相場英雄
- 「碧空の音」あさのあつこ
- 「望月の鳥」阿部智里
- 「幽霊健診日」赤川次郎
- 「怖いトモダチ」岡部えつ
- 「悪魔の審判」神永学
- 「方舟を燃やす」角田光代
- 「兎は薄氷に駆ける」貴志祐介

資産家男性が愛車のエンジンの不完全燃焼による一酸化炭素中毒で命を落とす。被害者の甥の自白で事件は解決と思われたが、それは15年前の殺人事件に端を発する壮大な復讐劇の始まりだった。『毎日新聞』連載を加筆・修正。



- 「春のたましい」黒木あるじ
- 「姥玉みつつ」西條奈加
- 「うまいダッツ」坂木司
- 「のち更に咲く」澤田瞳子
- 「そして誰かがいなくなる」下村敦史
- 「守護者の傷」堂場瞬一
- 「うらはぐさ風土記」中島京子
- 「ヒポクラテスの悲嘆」中山七里
- 「有罪、とAIは告げた」中山七里
- 「板上に咲く」原田マハ
- 「博士はオカルトを信じない」東川篤哉
- 「捨てたい人捨てたくない人」群ようこ
- 「ニューワールド」凧良ゆう
- 「ひとりになったら、ひとりにふさわしく」下重暁子
- 「錆びない生き方」五木寛之
- 「茶柱の立つところ」小林聡美
- 「ベニシアの「おいしい」が聴きたくて」梶山正
- 「あなたの迷宮のなかへ」マリ=フィリップ・ジ ヨンカレ

《文庫》

- 「イザベラ・バードと侍ボーイ」植松三十里
- 「推しの殺人」遠藤かたる
- 「丘上の洋食屋オリオン」沖田円
- 「ごんげん長屋つれづれ帖 8」金子成人
- 「うぼっぼ同心終活指南 2」坂岡真
- 「未だ迷」佐伯泰英
- 「罪の年輪」堂場瞬一
- 「信長餅」和田はつ子

《歴史・地理》

- 「戦国武将を推理する」今村翔吾
- 「戊辰戦後の山台藩(家老)一族」佐藤和賀子
- 「国産ロケットの父糸川英夫のイノベーション」田中猪夫
- 「三淵嘉子」神野潔
- 「札幌・小樽・富良野 旭山動物園 [2024]第4版」
- 「仙台・松島・平泉 [2024]第4版」
- 「金沢 能登・加賀温泉郷 '25」
- 「飛騨高山 '25」
- 「京都 [2024]第4版」

《社会》

- 「時代の反逆者たち」青木理
- 「天声人語 2023年7月-12月」朝日新聞読者委員会
- 「書いてはいけない」森永卓郎
- 「同性婚と司法」千葉勝美
- 「日本人の賃金を上げる唯一の方法」原田泰
- 「知識ゼロですが、新NISAとiDeCoをはじめたいです。」横山光昭
- 「給付金・助成金申請するだけでもらえるお金 2024年度決定版」
- 「押しはいていけない妻のスイッチ」石原壮一郎
- 「みんなの社会的処方」
- 「東北モノローグ」いとうせいこう
- 「涙にも国籍はあるのでしょうか」三浦英之
- 「令和6年能登半島地震」
- 「みんなだいすき!100均アイテム活用BOOK in 保育」

《自然・健康》

- 「こどもを野に放て!」
- 「ウルトラ図解おとなと子どもの頭痛」
- 「双極症と診断されたとき読む本」
- 「すごい身長伸ばし方」田邊雄
- 「女の一生は女性ホルモンに支配されている」天野恵子

《技術・手芸・料理》

- 「電気回路、マジわからん」と思ったときに読む本 二宮崇
- 「作って学ぶ、合理的な縫い方」
- 「ママ、おばあちゃんの手作りフェルトの赤ちゃんおもちゃ」肥後めぐみ
- 「白ごはん合うシンプルおかず」吉田愛

いつものおかずがちょっとした“コツ”で、時短・簡単・ラクチンにできあがり!「炊きたての白ごはん合う」ことを重視した、人気の家庭料理8品、ごはんがすすむ絶品おかず、食材別ごはんのおともレシピを紹介する。



- 「ある日突然、子どもに「自分の部屋が欲しい!」と言われたら」マルサイ
- 《趣味・芸術・スポーツ》
- 「75歳を越えても安全運転できる 運転頭脳を鍛える本」朴啓彰
- 「日本のミュージアムを旅する」後藤さおり
- 「おしごとそうだんセンター」ヨシタケシンスケ

地球に不時着した宇宙人がやってきたのは、風変わりな職業相談所。宇宙人は相談所のスタッフと一緒に、働くことの意味を考え…。「仕事」の意味を問い直し、明日をちょっと明るくする、ヨシタケ版「ハローワーク」ストーリー。



- 「ドイツ語」